放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 4 月 9 日　　事業所名　バンビ多の津

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	充分なスペースを確保 出来ている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0		重心児在籍の為、今後もより充分な数の配置が必要である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	4		業務改善に関して職員全体でのミーティングが行えていない。今後、チェックシート等を取り入れ行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	普段の保護者とのお話、からも意向の把握に努めるよう心掛けている。	アンケートで意見があまり集まらない状況である為、今後も普段から保護者の意向の把握に努めるようにしたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修や資格取得は積極的に行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	支援計画作成の為のカンファレンスは職員全員参加の下行い意見を出して	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	重心系と発達系とで内容の違うものを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	職員全体で話合い行っている。	チームで立案というよりも個人が立案したものを皆で話し合い決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	児童の意見等も取り入れながら活動内容を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	5	土曜や長期休暇には主に外出し色々な体験をしてもらえるような活動をしている	平日の放課後は細かな設定が出来ていない現状である為、今後は平日の活動に関してもより細かく設定して行きたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	子どもの特性等により、個別の部分と集団の部分を組み合わせて作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	前日までにあった問題等は対応の仕方の打ち合わせを入念に行い、職員によって支援の仕方にバラつきがないよう確認	児童それぞれに寄り添った支援が出来るよう、より細かな役割り分担を行いたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	気になった点を出し合い、改善に向け話し合っている。	送迎等で不在の職員には必ず情報伝達をし、パソコンソフトでいつでも職員全員が情報を共有出来るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	パソコンソフトを使用し、記録・管理を行っている。	毎日の支援内容をケース記録としてソフトへ入力し、記録漏れのないよう管理している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2		主に支援計画作成、更新時に合わせて行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	1	一人一人のサービス支援計画に沿って、日常生活動作、創作活動等の支援を行っている。	地域交流の機会が少ない為、感染対策を踏まえながら可能な範囲で取り組んで行きたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	主に児童発達支援管理責任者が出席している。	会議出席にあたり、事業所職員でカンファレンスを行い、現状や質問についてまとめ参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	保護者を通じて連絡帳やメールにてお知らせ頂いている。	まず一月分の予定表に詳細を記入して頂き、近くなったら更に連絡帳やメールにて改めて確認行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	必ず医療指示書を提出して頂いている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		直接のやりとりは行えていないが、保護者を通じて情報共有させて頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	保護者を通じて行っている。	直接ご連絡を頂いてそれまでの支援内容や様子についてお話する事はある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	6		以前は参加していたが今年度は出来ていない為、今後受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		以前はお誘い頂く事があり参加していたが、今年度は未実施。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	6		参加できていない。今後出来る限り参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	普段から連絡帳や送迎時等みお話し共通理解を持てるようにしている。	今後も継続出来るよう、保護者の方が話しやすい関係性を築けるよう努めたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	連絡帳やお話する中でアドバイスを行っている。	ペアレントトレーニングの必要性を実感しているので、今後専門的に学べるよう取り組んで行きたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に説明、同意を得ている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	必要に応じて、電話等でお話を伺っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		感染予防の為行えていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	保護者が直接伝えにくい場合には、相談支援事業所を介して対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	連絡帳やHP、ブログ等で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	HPで写真掲載等は、一人一人確実に同意を得てい	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	メールや連絡帳では伝わりにくい場合には、直接お会いし、理解して頂けるようお話してい	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		事業所の地域には住宅地が少なく、会社が多い為行えていない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	事業所ではマニュアルに沿って研修を行っている。	職員間では周知しているが、保護者には周知出来ていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	職員、児童参加で火災、水害訓練を実施してる。	今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	毎年必ず研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		利用開始時に保護者の方からお話頂き、同意の上行う事があった。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	6		保護者の方から確実に聞き取りを行い、アセスメント表を作成し職員間で周知徹底している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ファイルを作り、記録、保管し職員が目を通しやすいようにしている。	